



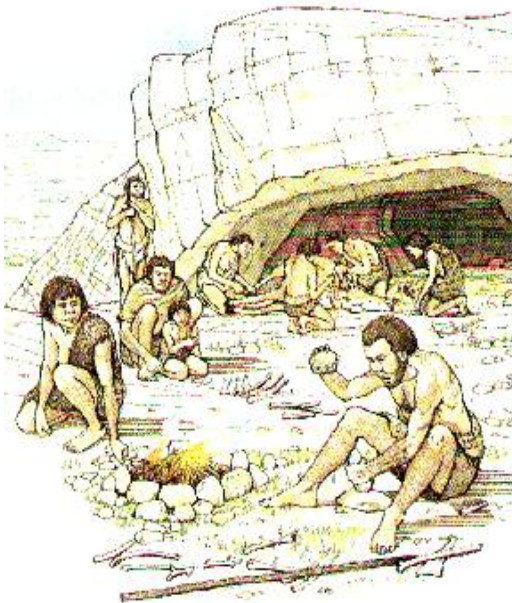
石の道具

猿も道具を使うことが知られてきました。それでは人間とどこが違うのでしょうか？『人間は道具を使って、もっと便利な道具を作り出すこと』霊長類の学会では、現在はそう規定されているそうです。

古代人は、石を必要な大きさに砕き素手で持って使う槌（つち）や斧として使い始めました。又、砥石で研いで刃をつけることも覚えました。小さく割った石は矢じりやナイフとして使います。ナイフなどとしてよく使われた黒曜石は便利なもので、動物を切ったり皮をはぐのに有用でした。

現在、黒曜石は原産地が特定できます。北海道、白滝産のものが遠く、ロシアの内陸部にまで運ばれ、伊豆大島、神津島（こうづじま）のものが、東海地方全域で発見されています。

右下の写真は今年4月に三条の刃物鍛冶、岩崎重義氏にいただいた黒曜石で、大きな塊に鹿皮を乗せ鹿の角をハンマー代りに叩いて刃物状にしたものです。（約 3.1x2.1x1.0 cm）何でも切れそうです。



黒曜石（こくようせき）：火山岩の一種。黒いガラス質。
装飾品やガラスの原料に用いる。
北海道十勝岳、長野県和田峠が産地。obsidian

参考図書

古代日本の知恵と技術
古代人
日本語大辞典

森 浩一 編
リリーフシステム 訳

大阪書籍 1983年
同朋舎 1991年
講談社 1989年

会社の住所表示が10月20日より変わりました。
新しい表示は以下です。
お手数ですが住所録をご訂正ください。

ホームページと電子メールをご利用ください。

URL <http://www2.memenet.or.jp/kinugawa/>
<http://www.kanamonoya.co.jp/>

e-mail ryou@memenet.or.jp